



決算説明

2023年3月期



2023年5月12日

 株式会社田中化学研究所

(注意事項)

本資料に掲載されている田中化学研究所の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与える重要な要因としては、田中化学研究所の事業領域をとりまく経済情勢、市場における田中化学研究所の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において田中化学研究所が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

目次

1. 2023年3月期 決算ハイライト
2. 2023年3月期 決算トピックス
3. 製品別販売数量 前事業年度との差異要因
4. 製品別販売数量Q毎推移
5. 主原料国際価格推移（円/kgベース）
6. Northvolt（ノースボルト）社に対する
前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約について
7. 営業利益 前事業年度との差異要因
8. 営業外収支および特別損益
9. 比較貸借対照表
10. キャッシュ・フロー計算書
11. 二次電池市場をとりまく環境
12. 技術開発の方向性
13. 中期ビジョン
14. 2024年3月期 業績予想
15. 製品別販売数量予想

付属資料

- 付属1. 業績を見る注意点
- 付属2. 主原料国際価格推移（\$/LBベース）

1. 2023年3月期 決算ハイライト

金額：百万円	2022/3期	2023/3期	増減	増減率
売上高	40,531	57,672	+17,140	+42%
営業利益	825	1,773	+948	+115%
経常利益	769	1,579	+810	+105%
当期純利益	731	1,290	+558	+76%
EPS (円)	22.50	39.66	+17.17	+76%
設備投資額	2,081	445	△1,635	△79%
減価償却費	1,703	2,000	+297	+18%

2. 2023年3月期 決算トピックス

● 販売数量は前年同期比 Δ 6.4%

- ・ リチウムイオン電池向け Δ 7.5% (車載用途 Δ 1.4%、民生用途 Δ 33.5%)
車載用途：顧客ごとの販売数量の増減が影響
民生用途：最終製品の需要減少
- ・ ニッケル水素電池向け車載用途 Δ 2.2 %
世界的な半導体や部品不足による自動車減産の影響で主要顧客からの受注が減少

● 主原料相場

- ・ ニッケル相場・コバルト相場共に当事業年度末にかけて急激に下落
(第1四半期の最高値比 ニッケル約30%下落、コバルト約50%下落)
- ・ 相場関連損益 18億円

● コスト上昇

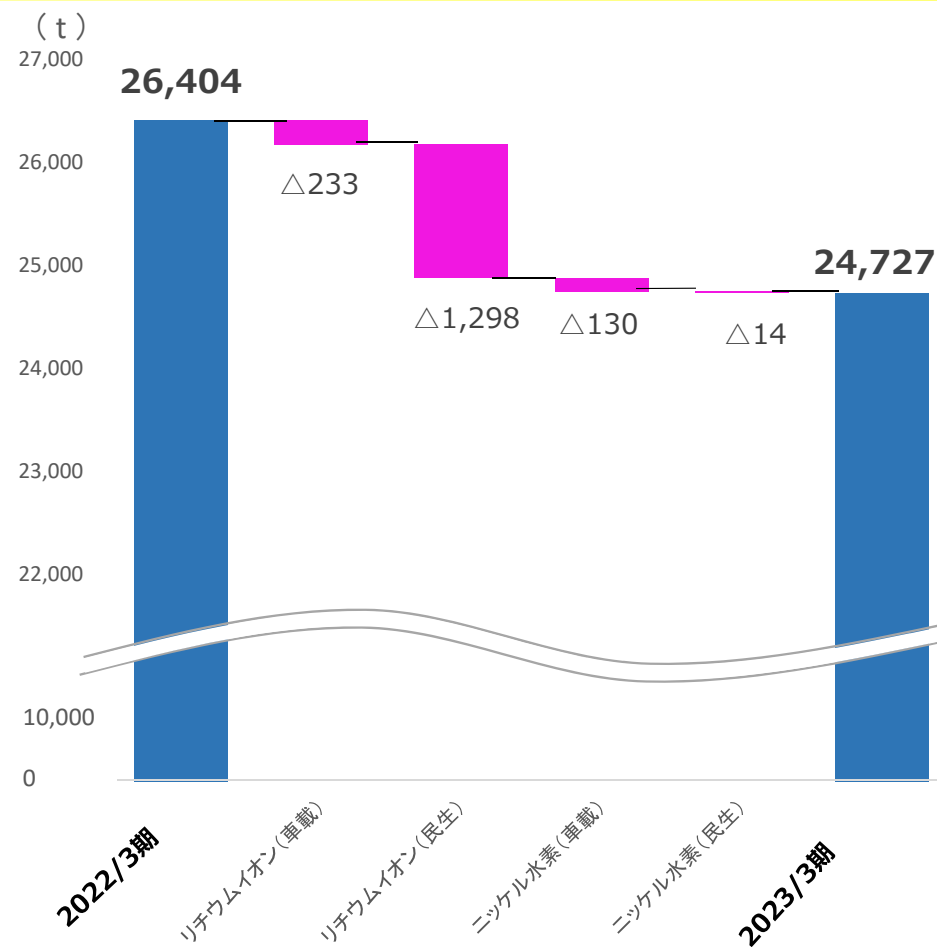
- ・ 中期的な増産に向けた
新規設備稼働にともなう減価償却費の増加
組織人員体制強化による労務費の増加
- ・ 苛性ソーダをはじめ各種原材料等や電気料金がさらに高騰するも、販売価格への転嫁は継続的に実施

● Northvolt (ノースボルト) 社に対する前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約

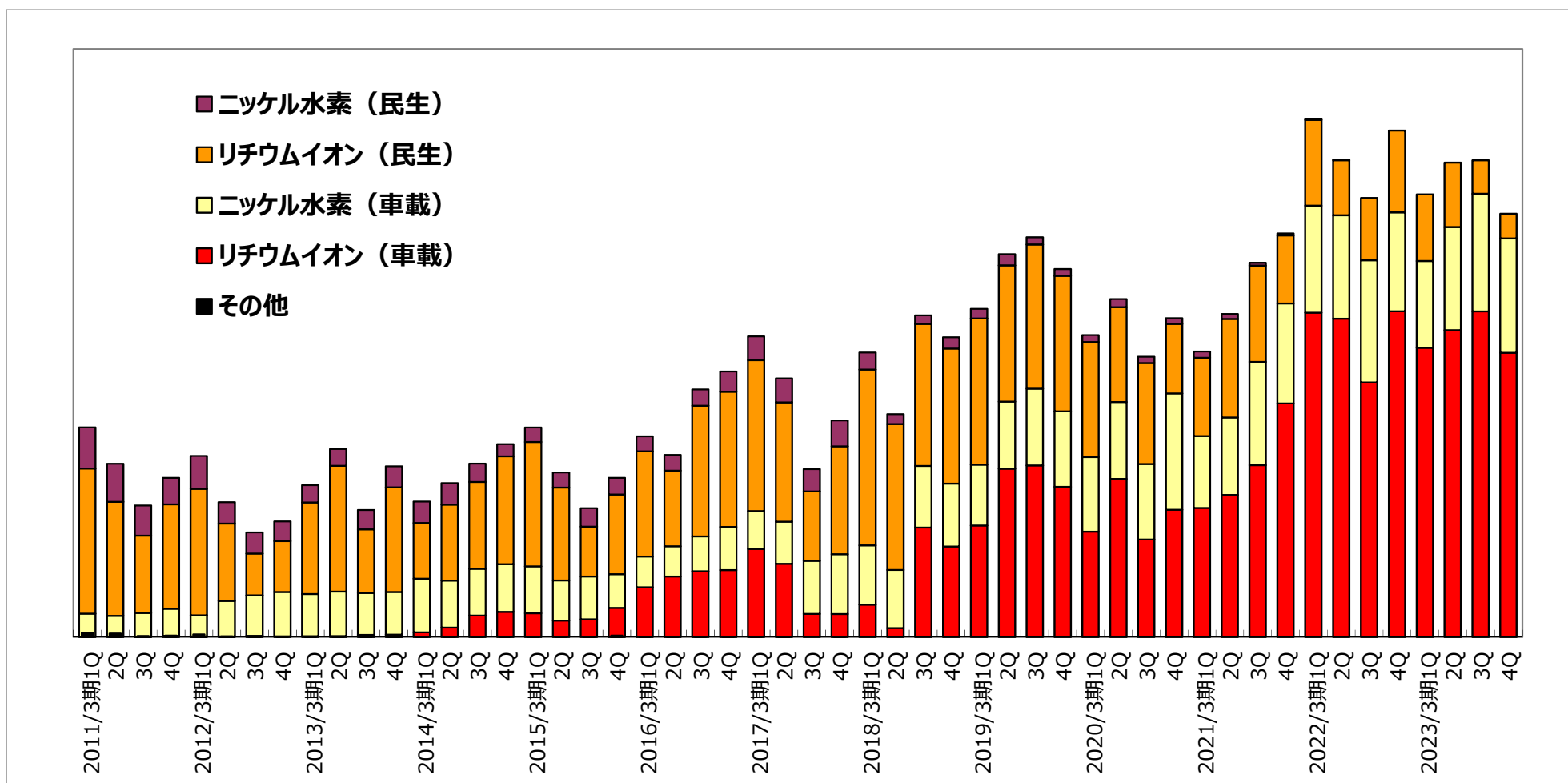
- ・ 2023年3月期第1四半期 売上高5億円 計上

3. 製品別販売数量 前事業年度との差異要因

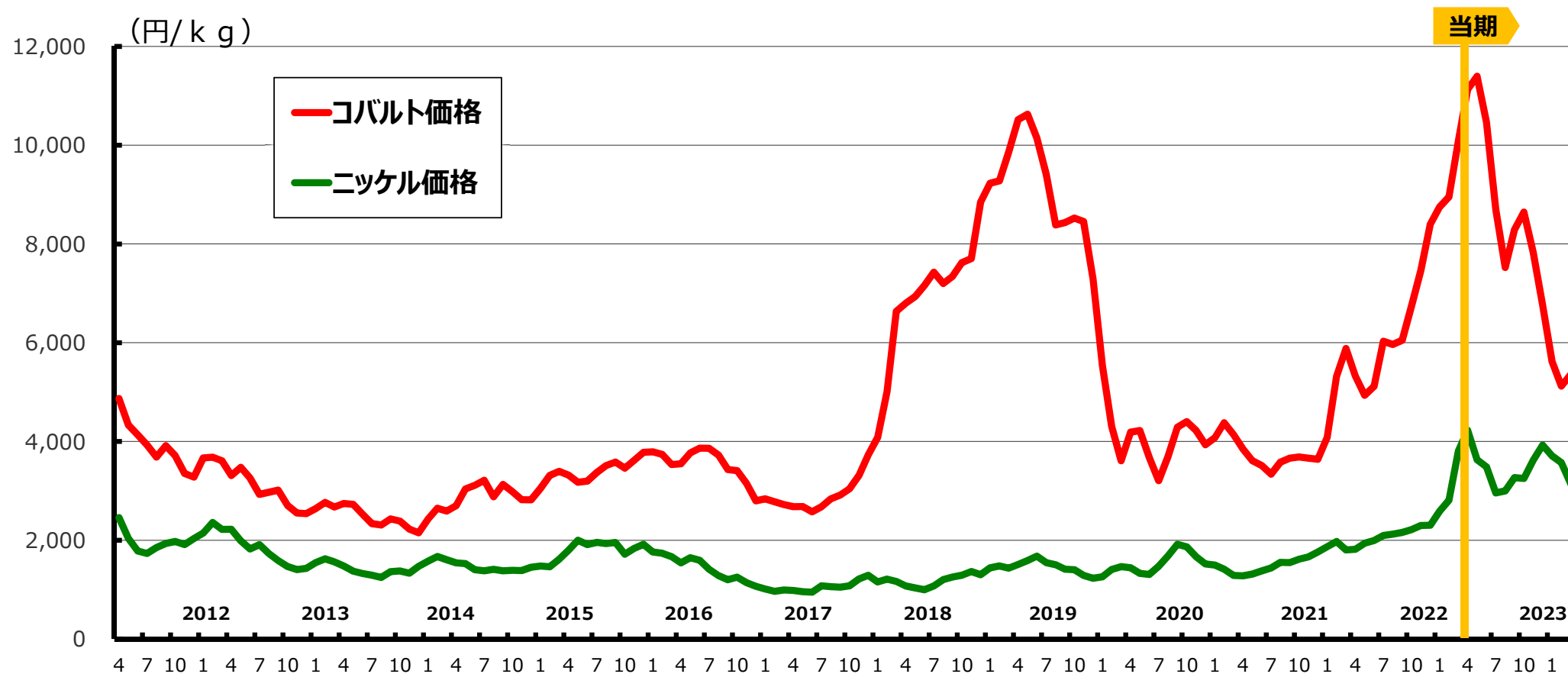
販売量：t		2022/3期	2023/3期	増減	増減率
リチウムイオン	車載	16,645	16,411	△233	△1.4%
	民生	3,875	2,576	△1,298	△33.5%
	計	20,520	18,988	△1,531	△7.5%
ニッケル水素	車載	5,868	5,738	△130	△2.2%
	民生	14	—	△14	△100.0%
	計	5,883	5,738	△145	△2.5%
合計		26,404	24,727	△1,677	△6.4%



4. 製品別販売数量Q毎推移



5. 主原料国際価格推移 (円/kgベース)



6. Northvolt (ノースボルト) 社に対する 前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約について

● 契約概要（締結日：2019年10月15日）

- ・ 前駆体製造技術のライセンス及び技術支援、前駆体販売契約
- ・ 技術支援の進捗状況に応じて、ライセンス / 技術支援料を受領予定

● 契約に基づくライセンス及び技術支援の進捗に応じた売上高

時期	金額
2021年3月期	10億円
2023年3月期第1四半期	5億円

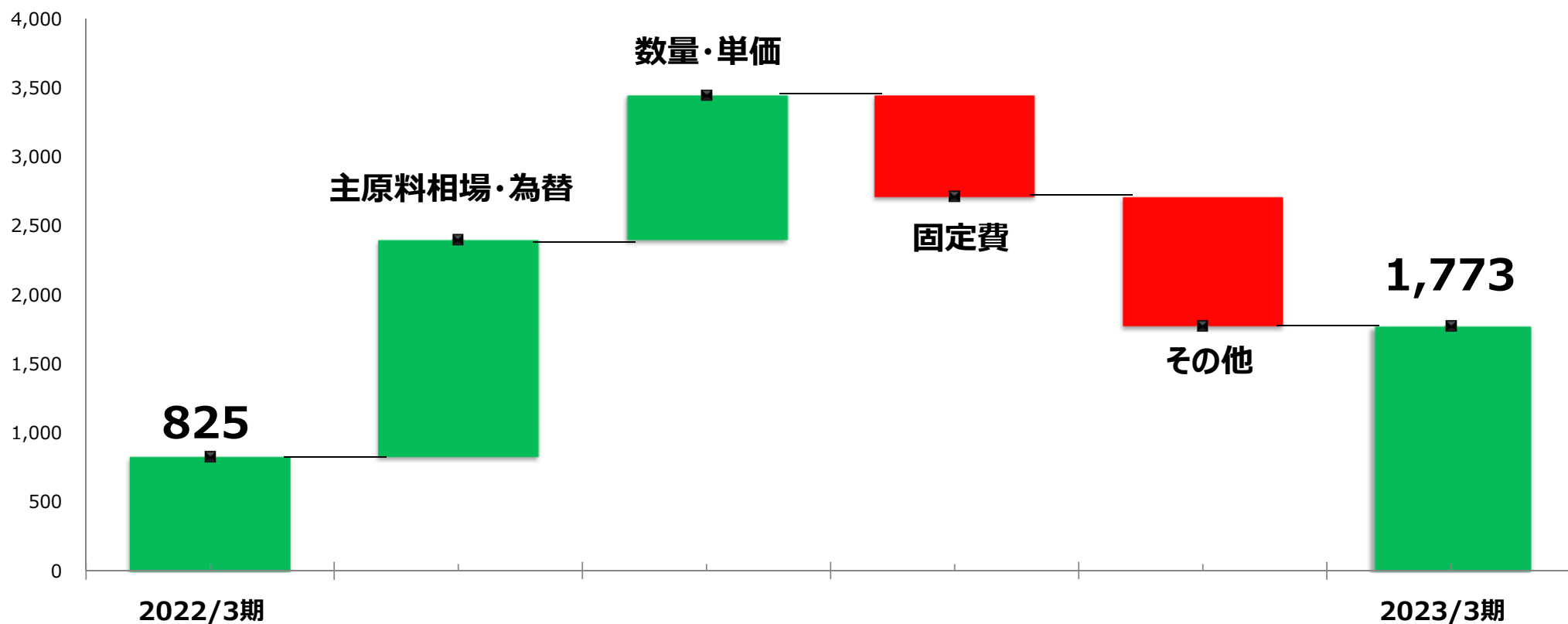
● Northvolt 社の概要

車載用途を中心に次世代リチウムイオン電池の量産を目的として設立

- ・ 名称 : Northvolt Ett AB (Stockholm, Sweden)
- ・ 事業内容 : リチウムイオン電池の製造販売
- ・ URL : <https://northvolt.com/>

7. 営業利益 前事業年度との差異要因

(百万円)



8. 営業外収支および特別損益

金額：百万円	2022/3期	2023/3期	増減
営業外収支	△ 56	△ 194	△ 138
金融収支	△ 74	△ 71	+3
為替差損益	21	△ 80	△ 102
その他	△ 2	△ 43	△ 40
経常利益	769	1,579	+810
特別損益	40	9	△ 31
税引前当期純利益	809	1,588	+778
法人税等	77	297	+220
当期純利益	731	1,290	+558

9. 比較貸借対照表

金額：百万円	2022/3期	2023/3期	増減	金額：百万円	2022/3期	2023/3期	増減
流動資産	17,950	20,709	+2,759	流動負債	14,727	16,013	+1,286
現預金	1,303	1,606	+302	仕入債務	8,918	10,931	+2,012
売上債権	8,797	6,444	△ 2,352	借入金	3,800	3,000	△ 800
棚卸資産	7,383	8,395	+1,012	その他	2,008	2,081	+73
グループ預け金	—	4,200	+4,200	固定負債	10,930	9,417	△ 1,513
その他	466	62	△ 404	借入金	10,800	9,300	△ 1,500
固定資産	21,067	19,378	△ 1,689	その他	130	117	△ 13
有形固定資産	20,862	19,185	△ 1,677	負債合計	25,657	25,430	△ 227
機械装置他	13,767	14,524	+756	資本金	9,155	9,155	—
土地	1,433	1,433	—	資本剰余金	6,662	6,662	—
建設仮勘定	5,661	3,227	△ 2,433	利益剰余金	△ 2,480	△ 1,189	+1,290
無形固定資産	6	7	+1	自己株式	△ 2	△ 2	△ 0
投資等	198	184	△ 13	その他	24	31	+7
				純資産計	13,360	14,657	+1,297
資産合計	39,018	40,087	+1,069	負債純資産合計	39,018	40,087	+1,069

10. キャッシュ・フロー計算書

金額：百万円	2022/3期	2023/3期	増減
税引前当期純利益	809	1,588	+778
減価償却費	1,703	2,000	+297
運転資本による資金の増減	△ 2,662	3,352	+6,015
その他	295	1,303	+1,007
営業活動によるキャッシュ・フロー	145	8,245	+8,099
有形固定資産の取得による支出	△ 2,404	△ 1,551	+852
その他	202	136	△ 66
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,201	△ 1,415	+786
フリー・キャッシュ・フロー	△ 2,056	6,829	+8,885
短期借入金の純増額	2,300	△ 800	△ 3,100
長期借入金の返済による支出	△ 1,500	△ 1,500	—
その他	△ 5	△ 44	△ 38
財務活動によるキャッシュ・フロー	794	△ 2,344	△ 3,138
現預金等換算差額	35	17	△ 18
現預金等増減額	△ 1,225	4,502	+5,728
期末現預金残高	1,303	5,806	+4,502

11. 二次電池市場をとりまく環境

EU



- 2019年 欧州グリーンディール発表
- 2020年 バッテリー規制案提案

中国



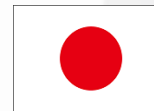
- 2060年までにCO₂実質ゼロへ
- LFP市場拡大

米国



- 2022年 IRA法成立
- 2023年 バッテリー要件追加

日本



- 2035年までに新車販売で電動車を100%に

12. 技術開発の方向性

ミドルニッケル
NCM

ハイニッケル
NCA・NCM

コバルトレス
(フリー)化

ニッケルレス化

- 要素技術を製品に適用
- 顧客・用途毎にカスタマイズ
(HV/PHV/EV/全固体...)

要素技術	ターゲット
粒子形態・粒径制御	高エネルギー密度
粒度分布狭幅化	耐久性
空隙付与 一次粒子微細化	高出力化 耐久性
プロセス開発	低コスト化

13. 中期ビジョン

二次電池向け材料市場で 存在感を示す企業



14. 2024年3月期 業績予想

金額：百万円	2023/3期	2024/3期 予想
売上高	57,672	64,000
営業利益	1,773	1,000
経常利益	1,579	930
当期純利益	1,290	830
設備投資	445	2,300
減価償却費	2,000	2,400

※Northvolt 社への技術支援については、2024年3月期で10億円の収益計上を見込んでいる。

※2024年3月期末までの期間において、為替相場やニッケル及びコバルトの国際相場が足もとの相場と比較して、変動がないことを前提とする。

15. 製品別販売数量予想

販売量：t		2023/3期	2024/3期	増減	増減率
リチウムイオン	車載	16,411	21,500	+5,088	+31.0%
	民生	2,576	2,100	△476	△18.5%
	計	18,988	23,600	+4,611	+24.3%
ニッケル水素	車載	5,738	7,000	+1,261	+22.0%
	民生	—	—	—	—
	計	5,738	7,000	+1,261	+22.0%
合計		24,727	30,600	+5,872	+23.8%

付属資料

付属1. 業績を見る注意点

$$\begin{aligned} \text{売上高} &= \overbrace{(\text{主原料国際価格} + \text{加工単価})}^{\text{販売単価}} \times \text{販売数量} \\ &= (\text{主原料国際価格} \times \text{販売数量}) + (\text{加工単価} \times \text{販売数量}) \end{aligned}$$

利益に関係なく増減

利益の源泉
(加工収入)

1. 販売単価は、原則として主原料国際価格にスライドする。
従って、売上高は主原料国際価格の変動により利益に関係なく上下する。
2. 利益は「加工単価」と「販売数量」の積である加工収入にリンクしている。
3. 「加工単価」は製品の鮮度、技術的な革新性、工程の複雑さなどによる。

付属2. 主原料国際価格推移 (\$/LBベース)

